

杉戸町新庁舎整備基本構想(案) に関する町民説明会

日 時:令和5年11月26日(日曜日) 10時~11時35分

場 所:杉戸町役場 第2庁舎 2階第1・第2会議室

出席者:町長、管財契約課長、主幹、職員2名、(株)桂設計 2名

参加者:20名(西地区:6名、中央地区9名、泉地区3名、町外2名)

《質疑応答》

Q. ユニバーサルデザインへの対応とはどのようなものを想定か。

⇒ユニバーサルデザインは、誰もが安心して利用できるように、県の福祉のまちづくり条例を踏まえて、バリアフリーや通路、エレベーターなど整備したい。

Q. 配置について、決まっているのか。

⇒配置については、現在の役場敷地が有力な候補地としており、基本計画の中で決定していきたい。

Q. さまざまな問題があげられているが、庁舎は箱である、箱のレイアウトを変更するなど現庁舎で解決できるように検討したのか。

⇒課題を解決するには、例えば、庁舎の奥行きが限られていることから、通路を塞ぐなどして執務空間を確保するなど考えている。

Q. 書類については、DX化により紙を大幅に削減できると考えるが、検討しているのか。

⇒町では、DX推進計画を策定しており、ペーパーレス化も検討しているが、どのタイミングで実施できるかは未定。

Q. 久喜市の状況で、建て替えがうまくいかない理由が分かれば教えてほしい。

⇒久喜市の状況については、報道程度の内容しか把握していない。久喜市は合併しており、旧鷲宮地区に庁舎を移転する方針で反対が出たと認識している。また、最近では現庁舎の裏側に用地を購入して 2 万㎡の庁舎を増築する案を出している。

Q. 6つの基本方針には、優先順位はあるのか。

⇒基本方針については、優先順位はない。どれも重要な事項と考える。

Q. 今回、住民説明会は役場で行ったが、今後他の地区でも行うのか。

⇒基本構想が策定したら、広報すぎとに掲載して周知を図りたい。また、決定していないが、基本構想について住民説明会を開催することも検討している。

Q. 新庁舎の想定耐用年数は。

⇒どのくらい使うのか決まっていない。でも将来も長く使えるように作っていく。

Q. 基本方針の「杉戸らしさ」とは何か。

⇒農業との連携や杉戸宿としての集いがある

《ご意見等》

- ・物価高、円安、海外の情勢を踏まえて、時期を遅らすのはどうか。
- ・個別施設計画では、公共施設は長寿命化し、RC 造で85年使うことになっているので、まだ使えるのでは。
- ・作った場合には将来を見据えて、自然災害への対応できる庁舎にすべき。例えば、浸水想定地域なので1階を駐車場にするとか泉地区に防災拠点を作るとか。
- ・カーボンニュートラルの観点から宮代町役場のように木造にしてみてもいいのでは。
- ・仮庁舎を作ると費用がかさむため、少しでも少ない費用のCパターンがいいと思う。
- ・市街地である高野台と中央の中間地点に庁舎を作るのもいいのでは。自分が試算したところ、1万坪の用地買収と6000㎡～7000㎡の庁舎建設で、約25億円で作れる。
- ・庁舎が別の場所に移設しても、ここの場所は郡役所として残してほしい。
- ・学校を廃止して庁舎を建替えるのは、親が子供のお金を使っているように見える。
- ・新しい庁舎は町のシンボルとなるような設計を希望する。
- ・久喜市や他の市町村でうまくいっていないのは、住民とのコンタクトが十分にできていないと進まないと思う。
- ・50年後に使い勝手が悪い可能性がある。ならば、木造で作って、必要に応じて作り直す方が良く考える。
- ・コミュニティセンターは、最初の説明会の時点ではいろいろ決まっていなかった状況で、次の説明会ではもう決定していたので、もっと住民の声を聞いてほしい。
- ・住民説明会の申し込みに名前と電話番号とか聞くと参加しにくい。もっと参加しやすいように検討してほしい。
- ・パブリックコメントをもっとしやすいように工夫してほしい。
- ・スケルトンインフィルのように将来でも利用できるようにしてほしい。